

RealWear HMT-1

Buddycom_Setup_Guide v1.0.1

株式会社サイエンスアーツ

● はじめに

- RealWear HMT-1は、Android OS搭載のヘッドマウント型ウェアラブルデバイスです。
 - 音声による操作で完全ハンズフリー操作を実現します。
 - 目線の高さのカメラにより、手元の映像を複数人で共有することが可能です。
-
- ※HMT-1でBuddycomを使用するには、1ライセンス使用する必要があります。
スマートフォンを2台とHMT-1を3台で利用する場合は合計5ライセンス必要です。
 - ※映像の共有(ライブキャスト)をするには、Livecast LiteプランまたはLivecast Enterpriseプランをご契約いただく必要があります。
 - ※HMT-1は各キャリアのSIMカードでの運用はできません。屋外で使用するにはモバイルルーターやスマートフォンのテザリング機能等でWi-Fiと接続する必要があります。

● 製品情報

スペック

- 連続待機時間:20時間
- 連続使用時間:9時間
- 連続ライブキャスト時間:4時間
- 充電時間:約3時間
- 充電方法:TYPE-C充電
- 防水防塵:IP66相当
- 重量:約380g
- Wi-Fi:2.4GHz+5GHz 802.11 a/b/g/n/ac
- 位置情報:GPS, GLONASS, A-GPS
- 動作時環境温度:-20~50°C

番号	説明
①	電源ボタン(長押しで起動/シャットダウン)
②	アクションボタン
③	カメラ・フラッシュライト
④	ブームアーム
⑤	ディスプレイ
⑥	マイク
⑦	スピーカー
⑧	3.5mmステレオジャック
⑨	USB-Cポート
⑩	着脱式バッテリー



詳細な製品情報や操作方法に関しては、製品に付属されている取扱説明書をご確認ください。

● ビルド番号について

当社では右記のビルド番号で動作確認をしております。

ソフトウェア更新により、Buddycomが使用できなくなる等の可能性がありますので、

お客様自身の判断によるソフトウェア更新はお控えください。

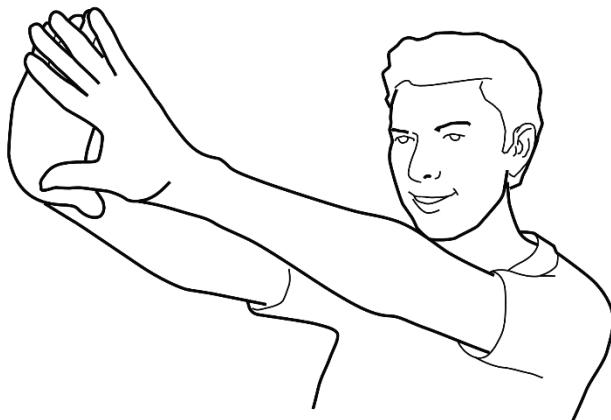
動作確認日	ビルド番号
2021/08/02	11.2.0-07-C.HMT-1.G
2021/08/02	12.1.2-04-C.HMT-1.G

● HMT-1の装着方法

1. 効き目の確認

利き目とは、他方の側の目より視覚を優先する目のことで、HMT-1は利き目でディスプレイを見ることが最も好ましいです。利き目と利き手は関係がありません。
以下で、効き目の確認方法を説明します。

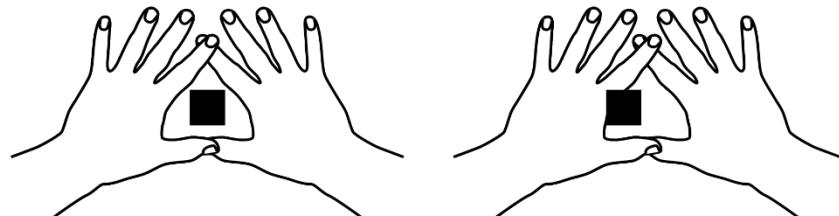
①腕を伸ばした状態で、両手で三角形を作ります。



②両目を開けた状態で、数メートル離れた場所にある掛け時計や電灯などの物体を、両手で作った三角形の中心に捉えます。

③三角形の中心にある物体に集中しながら、頭と両手を制した状態で、右目を閉じます。物体が三角形の中にある場合、左目が利き目です。

④再び両目を開けて、③の要領で左目を閉じます。物体が三角形の中にある場合、右目が利き目です。



⑤どちらの目で見ても物体が三角形の中にある場合、効き目はありません。

● HMT-1の装着方法

2. 装着方法

①カメラやディスプレイが利き目側に来るよう、HMT-1の向きを確認します。

②頭部に直接装着する場合は、同梱のワークバンドを取り付けます。ヘルメット用などその他のヘッドマウントアクセサリについては、販売事業者にお尋ねください。

③着用する前に、ブームアーム/ディスプレイがHMT-1と平行になるようにセットします。図のように、ブームを曲げてやや「Z」の形になるようにします。



④以下の点に注意しながらHMT-1を装着します。

- ・本体がこめかみに沿う高さになるように調節します。
- ・頭上で、本体が地面と大体水平になるようにします。
- ・眼鏡を掛けている方は、眼鏡を外さずに装着します。

⑤下の画像を参考にディスプレイ位置を調整します。

- ・ディスプレイの端が利き目の中心付近に来るよう、ブームアームを外側から内側に押し込みます。
- ・片方の手でブームアームを持ち、もう片方の手で本体の後部を持ちます。ディスプレイを利き目の目前、やや目の下に持ってきます。



⑥ディスプレイ横のダイヤルを緩めて見え方を微調整をします。電源を入れて、画面の四隅が明瞭に見えるよう角度を微調整します。角度が決まったら、ダイヤルを閉めてディスプレイを固定します。

● Buddycom利用までの流れ

1. HMT-1の初期設定

初期設定は、表示言語と日時、接続するWi-Fiの設定を、QRコードを読み込むことで行います。

詳しくはHMT-1のクイックスタートガイドをご参照ください。

<https://realwear.com/onboard/languages/japanese/>

①初期設定用QRコードを生成するために、以下のどちらかの方法を選択します。

A. 下記URLのWebサイトにアクセスする。

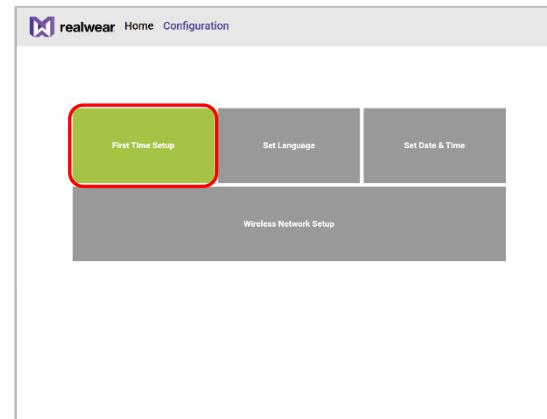
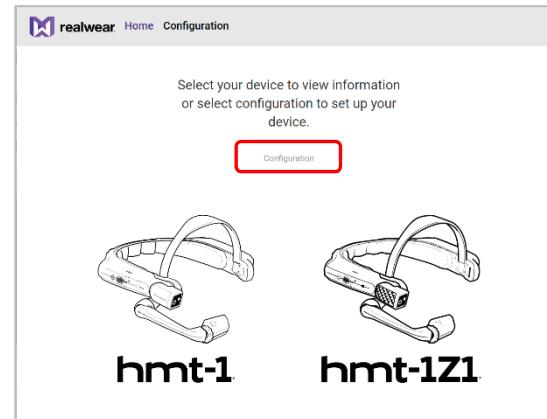
<https://realwear.setupmyhmt.com/configure>

B. Android / iOS端末で、「RealWear Companion」アプリケーションをインストールする。

※どちらの方法でQRコードを生成しても、設定項目・内容に差はありません。

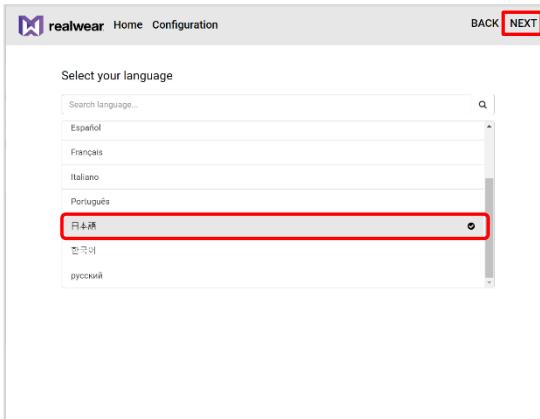
ここからはWebサイト版を例に解説します。

②Configuration→First Time Setupと選択して、初期設定情報の入力を開始します。

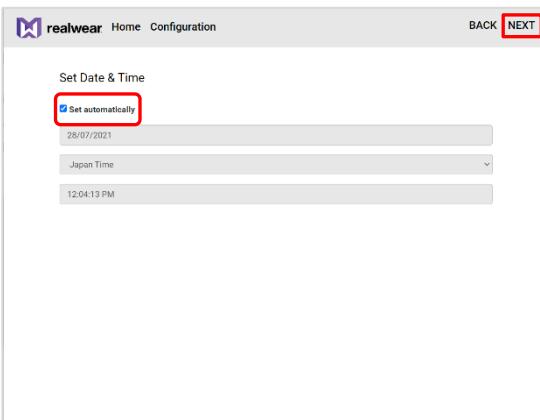


Buddycom利用までの流れ

③Select your languageで「日本語」を選択して、「NEXT」を選択します。



④Set Date & Timeで「Set automatically」を選択して、「NEXT」を選択します。



⑤Wireless Network Setupで、以下の情報を入力して、「GENERATE CODE」を選択します。

①SSID(アクセスポイント名)

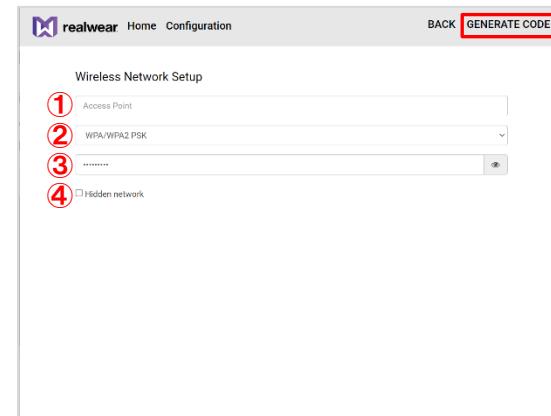
②セキュリティプロトコル

- No security
- WEP
- WPA/WPA2 PSK
- IEEE 802.1X EAP

③パスワード

④Hidden network

非公開のネットワークに接続するときに選択



● Buddycom利用までの流れ

⑥初期設定用のQRコードが生成されます。



⑦HMT-1の電源を入れます。

生成したQRコードを読み取るために、以下の流れで設定コードアプリを起動します。

1. 音声コマンド「ホーム画面」と言うか、アクションボタンを押してホーム画面を表示します。



※システム言語が日本語以外の時、日本語での音声コマンドが利用できません。巻末の「システム言語を変更するには」を参照して日本語に設定してください。

2. 音声コマンド「マイ・プログラム」と言って、マイ・プログラムを開きます。



3. 音声コマンド「設定コード」と言って、設定コードアプリを開きます。設定コードアプリはマイプログラム一覧の右側にあるため、顔を右に振ることで右にスクロールすることができます。



● Buddycom利用までの流れ

⑧設定コード画面にて、手順⑥のQRコードを読み取ります。QRコードの読み取りを成功すると自動でホーム画面に戻ります。
正しく設定情報読み込めると、初期設定用QRコードの設定値が反映され、手順⑤で入力したWi-Fiに接続されます。



音声コマンドとは

HMT-1を音声で操作するためのキーワードです。

「Buddycom起動・操作方法」にて、HMT-1の操作コマンドの一部と、Buddycomアプリの操作コマンドについて紹介しています。



● Buddycomインストール方法

2. Buddycomインストール方法

HMT-1にはGoogle Play Storeが導入されていないため、BuddycomのAPKファイルを手動でインストールする必要があります。

※**Buddycom v2.0.30以上で対応しています。**

①下記URLから最新バージョンのBuddycomのAPKファイルをダウンロードします。

https://developer.buddycom.net/downloads/buddycom_android.apk

②お使いのPC/MacにRealWear Explorerをインストールします。

下記URLページのGetting Startedからお使いのOS用のインストーラをダウンロードできます。

<https://realwear.com/knowledge-center/developer/rw-explorer/#Install>

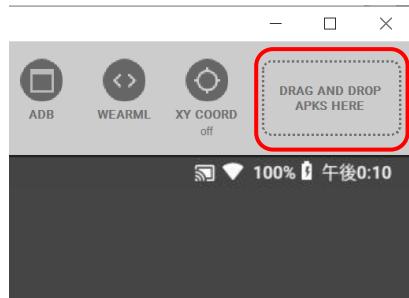
③HMT-1とRealWear Explorer(rwexplorer.exeファイル)をそれぞれ起動して、HMT-1とPC/MacをUSBケーブルで接続します。

HMT-1が正しくセットアップできていると、HMT-1のディスプレイに表示されている画面がRealWear Explorerに表示(キャスト)されます。

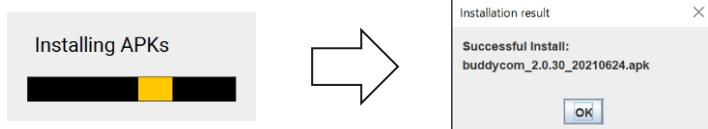


● Buddycomインストール方法

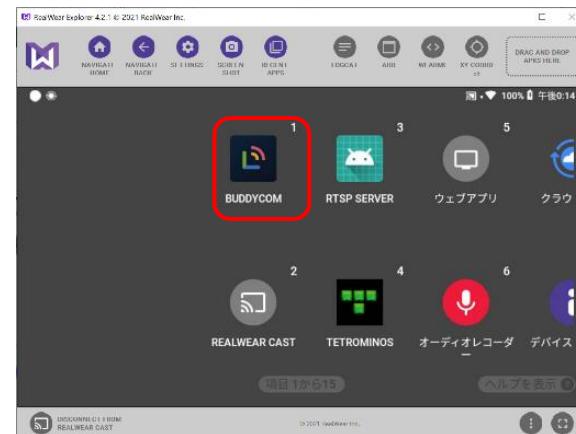
④最初にダウンロードしたBuddycomのAPKファイルを、RealWear Explorerの右上「DRAG AND DROP APKs HERE」にドラッグ&ドロップします。



RealWear Explorerに「Install APKs」が表示されて、しばらくするとインストールが完了します。



⑤RealWear Explorerの「NAVIGATE HOME」をクリックしてホーム画面へ戻り、「マイ・プログラム」をクリックしてBuddycomが表示されていれば、インストールは完了です。



● Buddycomログイン方法

1. Buddycomのログイン方法

HMT-1でも通常のスマートフォンと同様に、ID/パスワードによるログインが可能ですが、QRコードを使ったかんたんログインをお勧めしています。
ここではQRコードでのログイン方法を紹介します。

①Buddycom管理コンソールで、参加したいグループとHMT-1で使用するユーザーのかんたんログイン設定を有効にします。

詳しい手順はBuddycomのユーザーガイド「2.2 かんたんログイン」をご参照ください。

https://www.science-arts.com/downloads/buddycom/manual/buddycom/Buddycom_app_Guide.pdf

②管理コンソールでグループ情報の、かんたんログインの「QRコードを表示する」からQRコードを取得します。

③HMT-1を装着し、音声コマンド「ホーム画面」を言うか、アクションボタンを押してホーム画面に移動します。

④音声コマンド「マイ・プログラム」と言って、マイ・プログラムに移動します。

⑤音声コマンド「バーコード・リーダー」と言って、バーコード・リーダーを起動します。



⑥手順②で取得したQRコードを読み取ると、設定したユーザーでログインします。以下のような画面が出ることがありますが、「Buddycom」を選択して「常に開くに設定」を選択してください。



※かんたんログインにてログインができない場合は、Buddycomアプリのログイン画面にユーザーIDとパスワードを入力してログインをしてください。

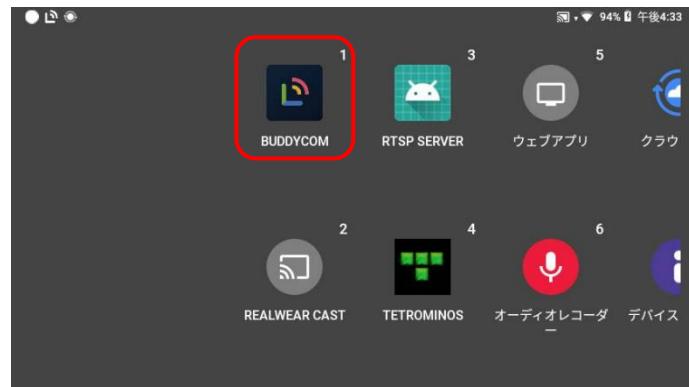
● Buddycom起動・操作方法

1.Buddycomの起動方法

- ①アクションボタンを押す、または音声コマンド「ホーム画面」で、ホーム画面に移動します。
- ②音声コマンド「マイプログラム」で、マイ・プログラムに移動します。



- ③音声コマンド「項目1」または「Buddycom(バディコム)」で、Buddycomを起動します。



初回起動時は、電話の発信と管理、音声の録音、他のアプリの上に重ねて表示 等の許可を求められますが、すべて許可してください。

※管理コンソールのクライアント設定、またはBuddycomアプリの設定で「OS起動時の自動実行」を有効にすると、HMT-1の起動時にBuddycomが自動で起動します。

● Buddycom起動・操作方法

2.HMT-1の操作方法

HMT-1は項目の選択や文字入力等、殆どすべての操作を頭の動きと音声コマンドで行います。
ここでは、よく使用される音声コマンドの一覧を紹介します。

※音声コマンドはソフトウェアバージョンアップで変更される可能性があるため、
最新の操作方法や文字入力についてはHMT-1のユーザーガイドをご参照ください。

<https://realwear.com/onboard/languages/japanese/>

利用画面	音声コマンド	操作
全ての画面	ホーム画面	ホーム画面への移動
全ての画面	上, 下, 左, 右へスクロール	指定した方向への画面スクロール
全ての画面	前の画面	1つ前に表示した画面へ戻る
全ての画面	ヘルプを表示	現在の画面で利用できる音声コマンドを表示する
全ての画面	通知を表示	通知領域を表示する
全ての画面	マイクを無効にする	音声認識を停止する 再度マイクを使う場合はアクションボタンを押す

● Buddycom起動・操作方法

HMT-1では、項目を選択するときは基本的に項目名を読み上げるだけで選択することができます。しかし、ラベルのないスクロールボタンやラジオボタン、チェックボックスなど、発音できないものについては、代替の音声コマンドとして項目番号の読み上げにて選択が可能です。

項目番号にて選択する場合は「項目」と、表示されている番号を組み合わせて読み上げます。例えば、「トーク」を選択する場合は「項目5」と読み上げることで選択ができます。



● Buddycom起動・操作方法

3. Buddycomの操作方法

ここでは、音声コマンドによるBuddycomの操作方法をご紹介します。

基本的なBuddycomの使い方についてはBuddycomのユーザーガイドをご参照ください。

https://www.science-arts.com/downloads/buddycom/manual//buddycom/Buddycom_app_Guide.pdf

音声コマンド	操作	備考
トークの開始	グループ通話・個別通話の開始	TALK画面、CHAT画面、LIVE画面、MAP画面にて有効なコマンドです。
トークの終了	グループ通話・個別通話の終了	TALK画面、CHAT画面、LIVE画面、MAP画面にて有効なコマンドです。
トークを開く	TALK画面を表示	
チャットを開く	CHAT画面を表示	
ライブを開く	LIVE画面を表示	
マップを開く	MAP画面を表示	MAP機能利用不可
ライブキャスト	ライブキャストの開始・終了	LIVE画面にて有効なコマンドです。
設定	Buddycom設定画面を表示	

※通話中にBuddycomがバックグラウンドになってしまっても通話は継続されるため、通話をしながら書類等のファイルを開くことが可能です。通話を終了するには、通話自動終了時間(初期設定は60秒)の経過を待つか、Buddycomをフォアグラウンドにして「トークの終了」と言います。

※音声コマンドはBuddycomアプリがフォアグラウンドの状態でご利用いただけます。

※Buddycomをバックグラウンドで利用するには、有線コントロールボタン等の外部デバイスによる通話操作をしてください。

● 制限事項

○ Google mobile services非搭載のため、以下の機能をご利用いただけません。

- ・マップ画面
- ・マップ通話機能
- ・アラート受信時の強制起動
- ・位置情報の取得

○ その他、以下の機能をご利用いただけません。

- ・グループ選択画面での縦スクロール
- ・チャット画面でのカメラからの画像送信、定型文送信、サウンド送信、アラート送信
- ・テキストの送信
- ・翻訳機能の訳文/原文表示切り替え
- ・日本語の読み上げ機能
- ・日本語文字入力
- ・ライブキャスト履歴再生時のコマンド操作(一時停止、早戻し、早送り、再生の終了)
※再生を終了したい場合は最後まで履歴を再生してから、「項目5」または「前の画面」コマンドで終了してください。
- ・トーク履歴再生時の早戻し、早送り
※履歴再生中は項目番号によるコマンド操作ができません。再生を終了したい場合は「pause」で再生を停止してから、「項目5」または「前の画面」コマンドで終了してください。

●付録：システム言語を変更するには

○HMT-1は出荷時点でシステム言語が日本語に設定されていますが、もし他言語が設定されている場合や、HMT-1を初期化した際は、システム言語を日本語に設定しなければ、日本語での音声コントロールができません。以下の手順でシステム言語を日本語に設定してください。

①HMT-1の起動後、アクションボタンを長押しし続けます。



②画面が以下のような画面に変わります。(アクションボタンは長押しし続けていてください)

2秒間隔で右から左へ言語がスクロールされるので、日本語が選択されたらアクションボタンから指を離してください。システム言語が日本語になれば設定は完了です。

